

1 学校教育目標

- 心豊かで思いやりのある子ども
- 自ら進んで考え、工夫する子ども
- 健康でねばり強い子ども
- たがいに協力し、進んで実行する子ども

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	確かな学力と豊かな心、健やかな体を本気で育てる学校 ○学力を定着させる学校 ○豊かな人間性をはぐくむ学校 ○体力・運動能力を高める学校 ○家庭・地域が協力し合う学校 ○組織的に教育活動を展開する学校
○児童・生徒像	○心豊かで思いやりのある子ども（あいさつをきちんとし、誰に対してもやさしく思いやりのある子） ○自ら進んで考え、工夫する子ども（自ら考え、自ら学ぶ意欲を身につける子） ○健康でねばり強い子ども（健康で、我慢強く最後までやりとげる子） ○たがいに協力し、進んで実行する子ども（自分で考え自分で判断し自分で行動できる子）
○教師像	○プロ意識をもち、教育活動を生き甲斐と感ずる教師 ○子どもと共に自ら伸びようと努力し続ける教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

○ 児童について

明るく素直で活発な児童が多い。肯定的な指導を行うことで、朝会や集会などでの集団行動時の規律が向上してきている。低学年での指導を手厚くすることで、学習規律や生活規律が整った学年・学級の構築が図れてきている。さらに多様な教育活動を通して、心を育て自己肯定感を高めることが必要である。

○ 教職員について

教職員全員で知恵を出し合い、学校経営、学年経営の視点で具体策をもって仕事を遂行していく体制が確立された。ベテランから若手までの全員が本校の諸課題について強い危機意識と改善意欲をもって「心は一つ」を合言葉に解決している。今年度もOJT制度、主任教諭研修制度を活用しながら若手教員からベテランまでそれぞれの力量に見合った人材育成を行っていく。

○ 家庭・地域について

学校全体の学習の場としての落ち着きや日常の教育活動の様子から学校への信頼関係が着実に深まってきている。さらに家庭に学校教育への理解と協力を求め連携していく必要がある。地域は、学校の成果を評価し、学校への期待感が高まっている。

重点的な取組事項－1 学力向上

○数値目標 平成28年4月区学習定着度調査 通過率77.6%

○実施結果 平成28年4月区学習定着度調査 通過率79.2% 【27年度77.6%】

通過率の数値目標を達成できた。SP表と個票の分析及び個別対策の時間を学年会に位置づけた。管理職と学年面接、個人面接を実施し、児童個々に対する方策を練らせた。中休み、給食準備中、放課後等あらゆる時間を利用して既習事項の個別指導を行った。管理職による漢字検定や九九免許講習で基礎・基本の習熟を徹底的に図った。また秋田県式家庭学習ノートを導入し、自ら学ぶ態度と習慣を身につけさせた。花保教室環境スタンダードで全教室の掲示を統一した。表現力を高めるために「語彙」を増やす必要がある。

重点的な取組事項－2 保育園・幼稚園・中学校との連携

○達成目標

保育園・幼稚園・中学校と連携を密にし、入学時・卒業時の円滑な接続と基礎学力の定着を図る。
花保中学校と小中連携教育を進め学力向上を図る。

○実施結果

保育園・幼稚園との連携

・交流研修で保育園での「鉛筆指導」、「平仮名指導」研修を実施し、「平仮名が読める。」「正しい鉛筆の持ち方で、正しい筆順で自分の名前が書ける。」園児を育てた。

・給食体験、図書室での読書体験、交流遊び等によって小学校進学への期待感を高められた

花保中学校との連携

足立区小中連携モデル校の取組みを継続して実施することができた。中学校の授業改善に寄与できた。

重点的な取組事項－3 教師の指導力向上

○数値目標 管理職の授業評価 全員B以上

○実施結果 管理職の授業評価 全員B以上達成

平成27年度まで研究を深めた「算数」で、児童の自力解決を大事にした問題解決型授業展開が継承され実施

することができた。平成28年度は研究教科を「国語」とし、「自ら考え学び合う児童の育成」をテーマに行った。まとめの言語活動を意識した授業スタイルができるようになってきた。他教科においてもベテランから若手までの全員が本校の学習における課題について強い危機意識をもって真摯に取り組み、自己の授業力の改善を図れた。授業改善には足立区教科指導専門員の継続的な指導も効果があった。

重点的な取組事項－4 心の教育の充実

○数値目標 学校評価項目 道徳授業の充実 90% 明るく楽しい学校 95%

○実施結果 学校評価項目 道徳授業の充実 96% 明るく楽しい学校 97%

全校朝会での講話と多くの表彰によって、児童の活躍を認め、結果を賞賛することで温かな学校風土の確立に努力した。Q U調査を年2回実施し、学級全体と児童個々の状況や学級内の対人関係をデータによって明確に把握した。データに基づく声かけや励まし、学級に合ったライフスキル等で、児童の自己肯定感が高まってきている。朝のあいさつ運動は、児童の自主的な活動として活発に行われており、開かれた学校づくり協議会委員も定期的に参加した。心を豊かに育てるために、道徳授業を充実させただけでなく、城北特別支援学校小学部との交流、学年表現発表集会、百人一首などの取組を行った。数値の向上から一人一人の児童にとって成就感のある1年間であったと考える。無言清掃も定着してきている。29年度も一層の心の教育を推進する。

4 重点的な取組事項

番号	内容	実施期間				
		27	28	29	30	31
1	学力向上	○	○	○	○	○
2	保育園・幼稚園・中学校との連携	○	○	○	○	○
3	教師の指導力向上	○	○	○	○	○
4	心の教育の充実	○	○	○	○	○

5 平成29年度の重点目標

重点的な取組事項－1 学力向上	
A 今年度の成果目標	平成29年度区学力調査 目標通過率（学校平均）
足立区平均通過率と同水準を達成する。	77.2%（平成28年度区平均）
B 前年度の取組み内容	
項目	具体的な方策
個の学力状況の把握と分析	○担任引継ぎ会議 春季休業中実施 ○学年会で区学力定着度結果表及び個票の分析と対策を定期的に行う。 ・SP表の分析と対策 ・区学力定着度個別表の活用 ・ポートフォリオの作成と活用 ○区学力定着度調査の活用 ・4月プレテスト・10月再テストの実施・2月プレテスト ○「そだち指導」「MIM」の指導 担当責任者の進行管理
パワーアップタイム（朝学習） 花保ステップタイム（水曜日） 土曜授業（国語・算数） 夏季学習教室	○マスターテスト ○東京ベーシックドリル診断テスト ○習熟のための個別指導 ○土曜授業 ・習熟のための復習授業 ・専科教員配置 ○夏季学習教室 ・習熟度別個別指導
放課後補習の実施	○帰りの会後の習熟問題 ○習熟度に見合った放課後個別指導 ○九九検定の実施と免許証の発行
家庭学習	○家庭学習カードの活用 担任の把握 ○秋田県式家庭学習の理解と実施 ○全家庭への周知 ○児童による内容の紹介 全校朝会
環境整備	○花保教室環境スタンダードの企画立案

C 前年度の成果と課題

○数値目標 平成28年4月区学習定着度調査 通過率77.6%
 ○実施結果 平成28年4月区学習定着度調査 通過率79.2% 【27年度77.6%】
 通過率の数値目標を達成できた。SP表と個票の分析及び個別対策の時間を学年会に位置づけた。管理職と学年面接、個人面接を実施し、児童個々に対する方策を練らせた。中休み、給食準備中、放課後等あらゆる時間を利用して既習事項の個別指導を行った。管理職による漢字検定や九九免許講習で基礎・基本の習熟を徹底的に図った。また秋田県式家庭学習ノートを導入し、自ら学ぶ態度と習慣を身につけさせた。花保教室環境スタンダードで全教室の掲示を統一し定着させた。表現力を高めるために「語彙」を増やす必要がある。

D 今年度の目標実現に向けた取組み

項目	達成基準	具体的な方策
個の学力状況の把握・分析・対策	<ul style="list-style-type: none"> 足立区の平均通過率と同水準の77.2% 学習定着度調査の再調査を実施し通過率90% 	<ul style="list-style-type: none"> ○担任引継ぎ会議 春季休業中実施 ○学年会で区学力定着度結果表及び個票の分析と対策を定期的に行う。 ○対策レポート作成と管理職の支援面接 ○区学力定着度調査の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・4月プレ ・10月再 ・2月プレ ○「MIM」の指導○「そだち指導」 ○九九検定の実施と免許証の発行 ○漢字検定と賞状の発行 ○読書の奨励と国語辞典の活用
パワーアップタイム（朝学習） 花保ステップタイム（水曜日）	<ul style="list-style-type: none"> ・(国語) 漢字ドリルテスト 漢字のまとめワークシート 合格ライン 80点 合格者 80% (算数) 次へのステップ 合格ライン 80点 合格者 90% 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝学習と放課後補習の時間を利用した漢字検定テスト（管理職） ○個別指導 ○専科教員のTT授業（土曜授業） ○東京ベーシックドリル <ul style="list-style-type: none"> ・3年生・・・1, 2年 ・4年生・・・1, 2, 3年 ・5年生・・・1～4年 ・6年生・・・1～4年
放課後学習の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・国語算数の不合格者対象 達成基準 同上 	<ul style="list-style-type: none"> ○国語算数不合格者の再テスト ○習熟度に見合った放課後個別指導
家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田県式家庭学習の実施 月～土 全学級 学年×10分 提出率90% 3年生以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習カードの活用 担任の把握 ○秋田県式家庭学習の理解と実施 ○全家庭への周知 ○児童による内容の紹介 全校朝会
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・花保教室環境スタンダード 全教室実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○花保教室環境スタンダードの企画実施

重点的な取組事項－2 保育園・幼稚園・中学校との連携

A 今年度の成果目標 **達成基準**

保育園・幼稚園・中学校との連携を密にし、入学時の円滑な接続と基礎学力の定着を図る。 幼保中と連携して教育を進め、下記の2項目を達成する。

B 目標実現に向けた取組

項目	達成基準	具体的な方策
花保中学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・花保中学校と共通の目的と組織のもと、教員相互の授業力を高めるための研究授業の実施 ・足立スタンダードに拠る問題解決型の授業展開、思考力を深める授業ができる。 ・体験・交流活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童・生徒の学力定着度の情報交換 ○調整会議（月1回の実施） ○授業研究の相互実施と研究協議会参加 <ul style="list-style-type: none"> ・年間8回（内容） 研究授業 6回（小3回 中3回） 全体会2回 指導案検討会2回 ・足立スタンダードに基づいた授業 ○生徒会学校説明会、合奏団交流

保育園・幼稚園との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑に小学校生活をスタートすることができ、4月中に小学校生活に慣れる。学習規律や生活規律を守ることができる。 ・平仮名が読め、正しい鉛筆の持ち方で、正しい筆順で自分の名前が書ける園児を増加 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校スタートカリキュラム実施 ○4月入学時実態調査の公表 ○連携保育園・幼稚園 <ul style="list-style-type: none"> ・交流研修会の実施 ・文字研修支援のための教員派遣 ・意見・情報交換会の実施 ・給食・図書室体験・1年生との交流集会 ・運動会・音楽会への招待
-------------	--	--

重点的な取組事項－3	教師の指導力向上
-------------------	-----------------

A 今年度の成果目標	達成基準
教師一人一人の指導力の向上	教師一人一人の指導力の向上 (OJT ガイドラインに基づく教師一人一人の育成段階ごとの目標達成)

B 目標実現に向けた取組		
項目	達成基準	具体的な方策
資質向上	都 OJT ガイドラインで求められている経験年数、職層に応じた目標の達成 ・基礎形成期の目標達成	<ul style="list-style-type: none"> ○校長レクチャーの実施 (年度当初) ○転入・新規採用教員研修の実施 ○自己申告書・面接の重視 ○学力対策レポートの作成と面接 ○若手教員養成塾の実施 10回以上
指導力・授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の基本の確立 ・管理職による授業評価 4段階 B以上 全員達成 ・児童の授業満足度 90% ・保護者授業参観アンケート「改善を要する」 3%以下 ・学校評価項目 90% 	<ul style="list-style-type: none"> ○学年共通指導 ○足立スタンダードの習得 ○授業力の向上を目標とした研究授業 ○管理職の授業評価と指導・助言 随時 ○区教科指導専門員の指導 ○指導教諭の模範授業参観 ○区小研への全員参加

重点的な取組事項－4	心の教育の充実
-------------------	----------------

A 今年度の成果目標	達成基準
児童一人一人の心の成長	学校評価による数値の向上

B 目標実現に向けた取組		
項目	達成基準	具体的な方策
心の教育の充実 道徳授業の充実 いじめ防止	<ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感の調査で、肯定的評価の児童 90% (2回実施) ・学校評価で「道徳活動に力を注ぎ、公開授業を行ったり、子どもに思いやりの心や規範意識を育てたりしている。」90% ・QU調査の再調査で数値向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○全校朝会での講話と表彰 ○QU調査の2回実施と分析 ○ライフスキル教育の実践 ○道徳授業の充実 ○百人一首の暗誦と区大会への参加 ○いじめ防止にかかわる児童会活動 ○城北特別支援学校児童との交流 ○サンクスウィークの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・サンクスカードプレゼント ○児童の教育目標と達成するための手立て「17 (いいな) 宣言」の浸透
あいさつの徹底に取り組む	学校評価で「子どもが明るく楽しく生活する雰囲気になっている。」 95%	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつキャンペーンの実施 ○保護者、地域への広報活動 ○あいさつボランティアの活動 ○開かれた学校づくり協議会の協力
特別活動の充実	・特別活動のねらいをふまえた行事や集会、学級活動などを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の活躍の機会を増やし、結果を賞賛することで自己肯定感を高める。 ○表現集会の実施 各学年1回
無言清掃	・無言清掃の定着	○強化週間の実施